

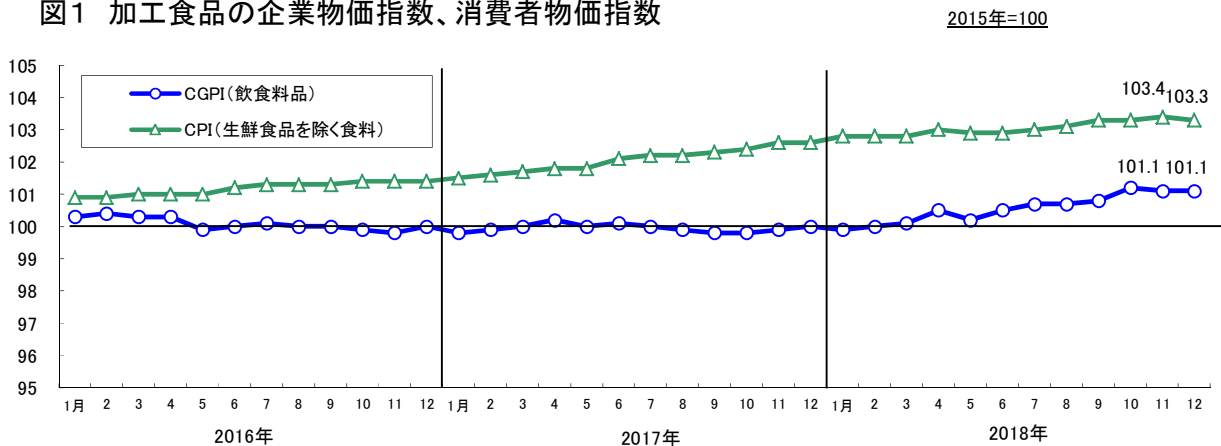
加工食品の物価及び生産・販売動向

1 加工食品の企業物価及び消費者物価

企業物価は横ばいから上昇傾向、消費者物価は上昇傾向

加工食品の企業物価指数は、概ね横ばいで推移していたものの、2018年4月以降は上昇傾向にある。一方、消費者物価指数（生鮮食品を除く食料）は同103.3で、緩やかに上昇傾向となっている。

図1 加工食品の企業物価指数、消費者物価指数



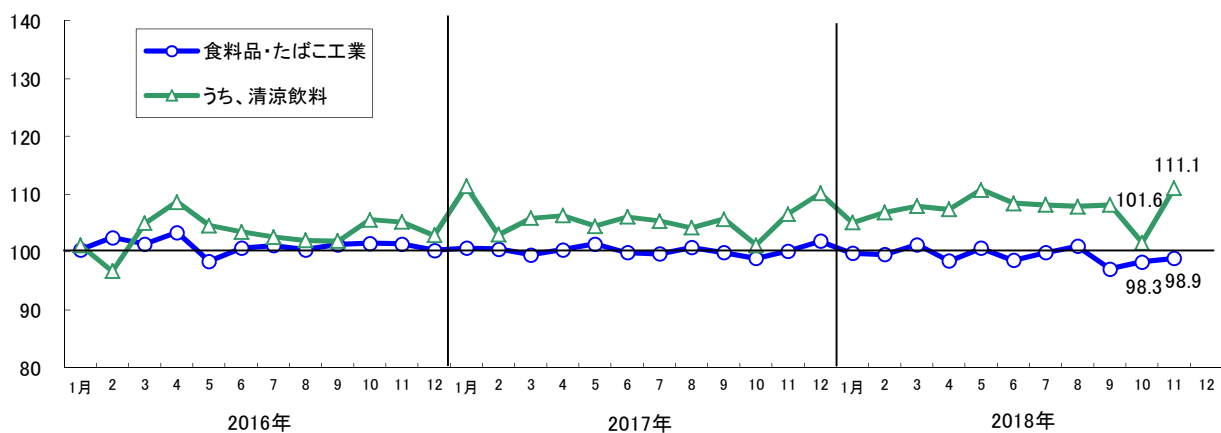
資料:日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

2 食品製造業の生産動向

食料品・たばこは前月比で横ばい、清涼飲料についてはかなりの程度上昇

2018年11月の食料品・たばこ工業の生産指数は、98.9で前月比0.6%と横ばいであった。うち、清涼飲料は111.1で前月比9.4%とかなりの程度上昇した。

図2 食料品・たばこ工業、清涼飲料の鉱工業生産指数の推移 2015年=100 季節調整済



資料:経済産業省「鉱工業生産指数」

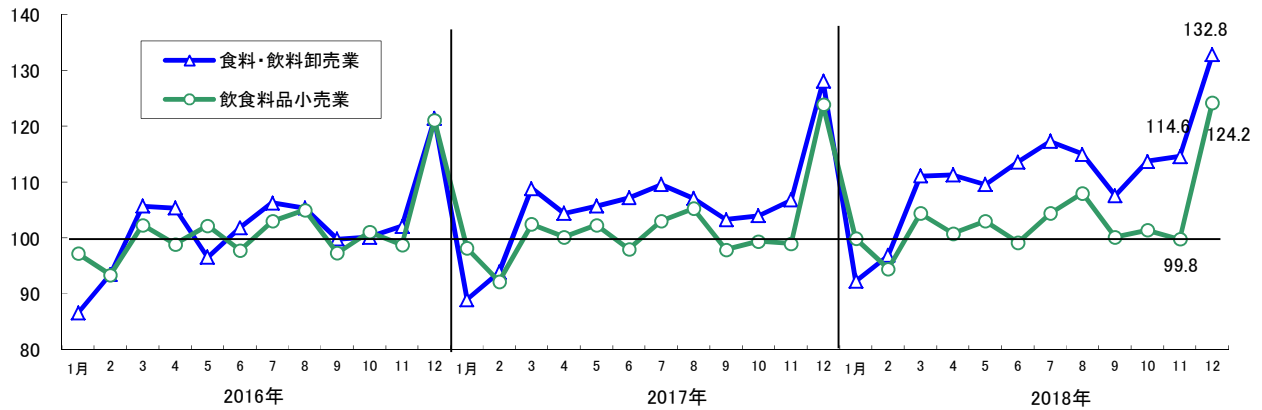
3 卸売業と小売業の販売動向

卸売業販売額は対前年同月比でやや上昇、小売業販売額は同横ばい

2018年12月の食料・飲料卸売業の販売額指数は132.8で対前年同月比3.7%とやや上昇した。飲食料品小売業の販売額指数は124.2で同0.2%とほぼ横ばいであった。

図3 食料・飲料卸売業と飲食料品小売業の販売動向

2015年=100



資料:経済産業省「商業販売統計」

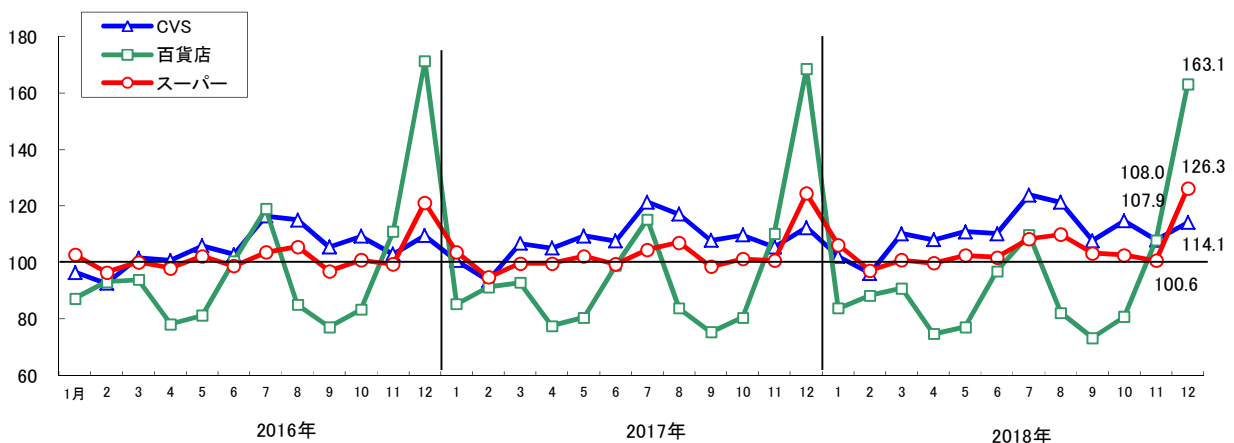
4 スーパー、コンビニエンスストア、百貨店の加工食品の販売動向

CVS及びスーパーは対前年同月比でわずかに上昇、百貨店は同やや低下

2018年12月のコンビニエンスストア、百貨店、スーパーにおける加工食品の販売動向についてみると、コンビニエンスストアは114.1で対前年同月比1.6%とわずかに上昇、スーパーは126.3で同1.4%とわずかに上昇、百貨店は163.1で同▲3.3%とやや低下した。

図4 スーパー、コンビニエンスストア、百貨店の加工食品の販売動向

2015年=100



資料:経済産業省「商業販売統計」

注:コンビニエンスストアはFFと加工食品の合計。百貨店及びスーパーは飲食料品。